



ハイブリッドユニットを搭載し 現代に蘇るトヨタ2000GT

Super Tuned File #04

Rocky Auto

Rocky HV Special

ロッキーオート 愛知県岡崎市小美町字殿街道153 ☎ 0564-66-5488 <http://www.rockyauto.co.jp>



キャブトンタイプのツインセンターマフラーをはじめ、テールスタイルも再現。ほかにもミラーやバンパー、ドアノブやワイパー、エンブレム類まですべてを新規で製作している。



2000GT定番のマグネシウムホイールも、アルミ削り出しで完全に再現。タイヤはダンロップS Pスポーツで、前後175/65R15を装着。サスペンションはダブルウィッシュボーンレイアウトとなっている。



元チームトヨタのレーサー細谷四方洋氏の監修により、オリジナルハイブリッドフレームに実車のフォルムを忠実に再現したFRPボディを組み合わせる。実車を超えるクオリティを目指したという通り、チープなレプリカモデルとは別物の仕上がりだ。



SPECIFICATION

- エンジン：1NZ-FXE換装
- ドライブトレイン：ハイブリッドトランスアクスル換装
- サスペンション：ロッキー
- オート・RHVオリジナル車高調
- ホイール：ロッキーオート・RHVオリジナル トヨタ2000GT純正リブロ(FR5J×15)
- タイヤ：ヨコハマ(FR165/65R15)
- エクステリア：ロッキーオート・前期トヨタ2000GT再現

快適性と走行性能も追求したコンプリートカーとして登場

ハコスカやケンメリ、S30Zなど、往年の名車の専門店として長い歴史を持つロッキーオート。質の高いオリジナル状態の車両だけでなく、現行車にも引けを取らない走りと快適性を追求し、様々なエンジン、スワップ仕様を生み出していることでも知られている。

そんなロッキーオートが「本物を超えるレプリカ」を目指し、2億円も

の開発費を投じて完成させたのが、

ロッキーHVスペシャル。誕生50年を

迎えたトヨタ2000GTのレプリカ

ボディに、アクアのハイブリッドユニットを搭載したオリジナルマシンだ。

シャーシはハイブリッドフレームで、高い走

行性能を実現させるためにダブルウ

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

ー

**各部門の最優秀賞から
2015年のグランプリが決定**

3日間合計で30万人もの来場者が訪れ、さらにこれまで使われていなかつた国際会議棟まで展示スペースが拡大され、過去最大規模のスケールとなつた東京オートサロン2015。

そんな中で、本年も約900台オーバーの展示車両の中から人気のマシンを選ぶ「東京国際カスタムカーコンテスト」が開催された。コンテストは全8部



東京国際カスタムカーコンテスト2015 受賞車両速報

コンセプトカー部門

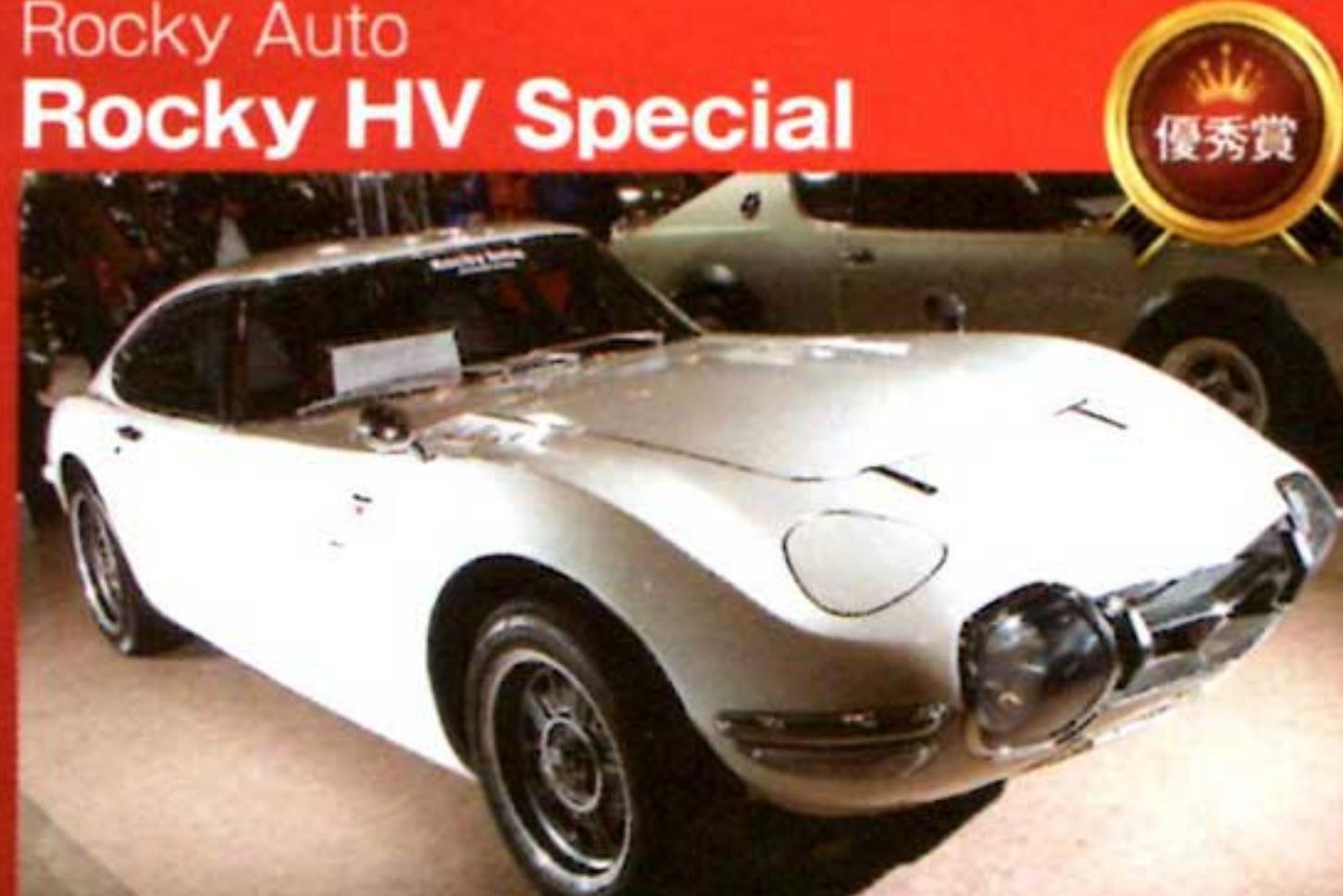


KUHL RACING&ARTIS&LOVE LARK
KUHL JAPAN PROJECT R35 GT-R

匠の技が光るミラー＆エンゲレービングペイント

日本を代表するジャパンブランドが結束して展開する「クールジャパンプロジェクト」から生まれた独創的なマシン。鏡の質感を再現したミラーペイントと、アラベスク模様を塗装面に彫り込むエンゲレービングを組み合わせることで、唯一無二の存在感を手に入れている。

Rocky Auto
Rocky HV Special



ハイブリッドで本物を超えるレプリカを目指す
2億円もの開発費をかけて完成させた、トヨタ2000GTのレプリカボディにアクアのハイブリッドユニットを搭載したオリジナルマシン。今後はハイブリッドだけでなく、RB25DETや2JZ-GT搭載モデルも発売するというから期待したい。

MAZDA
ALL-NEW MAZDA ROADSTER



発売が待ち遠しい新世代オープンカー

今年6月に発売が予定されているND型ロードスター。国内仕様の排気量は1.5lと2lの2本立てとなり、それぞれに6MTが用意されるという。今からライトウェイトFRのチューニングのベースとして期待が高まる1台だ。

門からなり、来場者投票でその審査は行われている。

それぞれ最優秀賞に輝いたマシンは、コンセプトカー部門でクール名古屋&アルティスのR35、チューニングカー部門でブリッツのWRX STIが受賞。クール名古屋&アルティスのR35は革新的なミラーペイントとエンゲレービング彫刻で見る者を驚かせ、ブリッツの

WRX STIも新型車を速攻でフルチューン、去年末に筑波1分切りを達成したことが記憶に新しい。この2台の車両は常にギャラリーが取り囲んでいるほどの人気ぶりだった。

ところで、今年の出展車両傾向としては、去年、一昨年と会場を埋め尽くしているかのごとくに感じられた86&BRZの出展数が幾分落ち着き、変わったことに数を増やしたのがR35 GT-R。そのスタイルは機関系のチュ

ーニングだけでなく、ドレスアップカスタムのベースとされているものも多く、これまでR35に抱かれていた“イジれない、イジっちゃいけない”というイメージが、ここにきてようやく払拭されたように感じるし、この先このムードは広まりさらなるチューニングに期待できるところだろう。

また、車種ではなく全体の傾向として、ポップなカラーリングの車両が増えてきた様子、これは景気の向上などによ

り、作り手乗り手の心理的高揚感も高まってきていると考えられるね。

なお、各部門の最優秀賞ノミネートされた8台により、オートサロン公式HP内特設ページにてグランプリ投票が行われる。この号が発売する頃には投票期間が過ぎ、グランプリが決定されることとなるが、チューニングファンの興味がどこに向かうのか？ 結果に注目してほしい。



特別付録!! 掲載200台オーバー
『スーパーチューンドコレクション』別冊

Real Tune & Exciting Car Magazine
[オプション]
<http://www.jdm-option.com/>

2015
March

3

OPTION 2015年3月号(毎月26日発売) 1月26日発売
第35巻第3号 通巻458号 1981年8月3日 第3種郵便物認可

TOKYO AUTO SALON 2015 まるごと一冊!! 東京オートサロン超速報

= BODYKIT DESIGN & CUSTOM MANUFACTURE =

Kuhl RACING JAPAN



CLUB RH9
ATTACK in SUZUKA CIRCUIT

2015はホンダがアツイ!!

新型NSX発表

謎のホンダ車の正体は?

人気連載マンガ“RPM”

TSUKUBA ATTACK
筑波51秒台突入!!
アンダー鈴木シルビアのゆくえは!?

